

株主のみなさまには、平素より当社への厚いご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

また、平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

2018年上期(1月1日から6月30日まで)の経営概況や業績などについて、ご報告いたします。

代表取締役社長

吉松民雄



2018年上期の総括

2018年上期の清涼飲料業界は2月および5月に天候不順の影響を受けたものの、業界各社の積極的な新製品導入などにより、販売数量ベースの市場規模は前年同期を上回りました。業界各社の収益改善に向けた動きが見られる一方で、局地的な販売競争も続いております。

当社グループは、2020年までの中期事業計画「Growth Roadmap for 2020 & Beyond」を着実に進めており、2018年は「2020年に向けた持続的成長を実現するための重要な年」として、1月1日付で事業会社の統合と子会社の再編を実施し、新たな体制でスタートいたしました。成長実現に向けては「地域密着の営業活動とスケールメリットの発揮」、「イノベーション加速」、「シナジー創出」の3つを重要な要素と位置づけ、

活動に取り組んでまいりました。また、中期事業計画で掲げる財務戦略の実行にも取り組んでまいりました。2月には配当方針の明確化、3月には業績連動型株式報酬制度の導入、4月には自己株式17,075,239株(発行済株式総数の8.28%)の取得など、株主価値向上に向けたさまざまな取り組みを進めてまいりました。

事業別の取り組みとしては、飲料事業では、「コカ・コーラ ピーチ」や「綾鷹 茶葉のあまみ」などの新製品発売や、「平昌オリンピック」や「2018FIFAワールドカップ ロシア」の開催に合わせた積極的なマーケティング活動の実施などにより、炭酸、無糖茶カテゴリーの販売数量は前年同期を上回りました。コーヒーカテゴリーでは苦戦を強いられましたが、5月にPETボトルコーヒー「ジョージア ジャパン クラフトマン」を発売し、新たな顧客ニーズに対応すべく体制を整えました。また、コカ・コーラシステムにおける

世界初のアルコール飲料「檸檬堂」のテスト展開を九州で実施するなど、これまでにない取り組みにも挑戦してまいりました。コスト面については、サプライチェーンや調達の分野を中心に50億円のシナジーを創出するなど、生産性向上・効率化の取り組みを進めてまいりました。

ヘルスケア・スキンケア事業では、機能性表示食品「キューサイ ライラック01乳酸菌」や、「しなやか やわらか エラスチン」など、ヘルスケア分野における新製品の発売や、効率的な広告宣伝費の投下に取り組みました。

これらの結果、上期の連結の売上高は4,666億円(前年同期比30.4%増)となりましたが、昨年の経営統合に伴うのれん等償却費の増加等により、営業利益は152億円(同比11.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億円(同比8.7%減)となりました。

豪雨被害の影響と通期の見通し

下期に入りまもなく発生した平成30年7月豪雨により、本郷工場(所在地:広島県三原市)と、隣接する物流拠点において浸水被害が発生し、操業を停止しており、操業再開までには一定の期間が必要と見込んでおります。また、他の一部製造・営業拠点、販売機器、車両等についても被害が発生し、被害状況や業績への影響等の詳細について現在、調査を進めております。2018年通期の連結業績予想につきましては、現時点で豪雨被害による影響を合理的に算定することが困難であるため、

未定とさせていただき、被害状況や事業への影響等の精査を踏まえた予想を策定次第、改めて公表いたします。

また、当社は、積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら、安定的に配当を行うことを最優先とし、業績や内部留保を総合的に勘案のうえ、剰余金の配当を実施する方針です。この方針に従い、2018年の配当金は、中間配当金を1株当たり25円といたしました。また、期末配当金は1株当たり25円を予定しており、年間では2017年から6円増配の1株当たり50円を見込んでおります。

株主のみなさまへのメッセージ

被災による一時的な影響は避けられませんが、成長実現とシナジー創出を目指す、私たちの基本戦略と方向性は変わりません。下期以降、早期復旧に努めるとともに、飲料事業、ヘルスケア・スキンケア事業のそれぞれにおいて、成長実現と生産性向上・効率化に向けた取り組みをさらに推進してまいります。

そして、今後もお客さま、お得意さまをはじめ、すべてのステークホルダーのみなさまから信頼される企業であり続けるために、「地域密着」と「顧客起点」という経営の原理に基づき、事業活動を行ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。